

7/10（水）あいち国文の会の開催について

“あいち国文の会”は、平成 12 年 9 月研究会という形で愛知県立大学に於いて発足いたしました。時は恰も日本の大学に法人化の波がおし寄せて国文学科の存続も危ぶまれる時機にあり、国文学科の教員・同級生が昨今の国文学研究の衰退を憂え、国文学研究の活性化をはかるとともに、今後の国文学研究がますます盛んになることを願って出発したものであります。研究者からは学会の最新の情報を、同窓生からは得意とする分野の話しを、大学院生からはとり組んでいる研究課題を、学部生からは授業での疑問を、近隣地域の文学愛好家（愛知県立大学関係者及び岐阜・三重・静岡等）からは郷土に関わる話など、さらに最近では国文学周辺の史学・哲学にも広がって専門家から話を聞いております。

充実した内容に毎回 30 名から 50 名の参加があります。

また平成 19 年 7 月に“あいち国文の会”の会誌「あいち国文一号」を発行し、一年に一冊、現在「あいち国文十二号」（平成 30 年 9 月）まで発行されています。例会・会誌共に同窓生の寄附により賜れていますので、参加無料です。

今回は、大下 武氏（東海学センター理事）をお迎えし、「朝日文左衛門の日記」と題した講演を行いますので、ぜひご参加及びご取材いただきますようお願い申し上げます。

日 時	令和元（2019）年 7 月 10 日（水） 10 時 30 分～12 時 00 分
場 所	愛知県立大学長久手キャンパス 外国語学部棟（E 棟）3 階 E305
実施内容	第 201 回研究会 題目：「朝日文左衛門の日記」 発表者：大下 武氏（東海学センター理事）
申込等	事前申込不要、当日会場にお越しいただければご参加いただけます
本件担当 （教員）	日本文化学部国語国文学科 准教授 洲脇 武志